

「M―…個性を生かす多重知能の理論」

ハワード・ガードナー著、松村暢隆訳

人間の知性、知能は古来、さまざまに定義され、「知性ある人」というイメージは、時代によって違っていた。本書は知能の本質を考察し、新世紀の知性を再定義し直そうとする。

従来の知能検査は認知の一角を示すにすぎず、人間は多様な潜在能力が関連し協調し合う「多重知能」を持つとする立場から、著者は従来の知能のほかに、博物的、実存的、道徳的、靈的知能を候補とする。